全国浴場新聞
発行所 全国公衆浴場環境衛生同業組合連合会
東京都千代田区東神田1－10－5
TEL（03）6241－8
購読料 1部 50円

熱気に満ちた京都大会



「確保法」の趣旨、具体策で実現を
業界の要望、決議に集約

第二十四回全国公衆浴場業環境衛生大会は六月十四日、全国公衆浴場業者の総力を挙げての結集のもと、京都府公衆浴場業生活衛生同業組合の主管で、京都市勧業会館において開催された。冒頭、大会会場を埋め尽くした全国の業界関係者を前に、全国浴場組合連合会の小笠原会長は、「公衆浴場の現状は大変厳しい。公衆浴場の共存と発展に向けた抜本的な対策が必要である。今大会は、この問題解決に向けての重要な大会である」と挨拶した。

来賓として、厚生省生活衛生局の小林課長、京都府の荒木副知事、京都市の高橋副市長、京都府議会の山本議長、京都市議会の小林議長、京都府公衆浴場業生活衛生同業組合の小笠原理事長、京都市公衆浴場業生活衛生同業組合の小笠原理事長、京都府公衆浴場業生活衛生同業組合の小笠原理事長、京都府公衆浴場業生活衛生同業組合の小笠原理事長、京都府

公衆浴場のための省エネルギー手引き

財団法人エネルギーセンターはサンシャイン計画の一環として、公衆浴場のための「省エネルギー手引き」を作成している。このほど「省エネルギー手引き」公衆浴場編が完成した。内容はイラストなどを多く入れ、わかりやすく、設備業者にとって参考になるばかりでなく、浴場経営者にとっても省エネの進め方がよくわかるようにと配慮されている。本誌はこの手引きを連載することにした。なお、この手引きは、浴場組合連合会を通じ配布されている。

◇経営と省エネルギー

営業者は、サービス業の立場から比較的容易にエネルギー利用の合理化ができる。本誌はこの点を踏まえ、光熱・水道・動力費は売上高の二四～二五%と高額であり、燃料費は利益の二倍～三倍相当する。石油・ガス価格の値上がりなどで、今後ますますエネルギーコストが経営を圧迫するものと想われ、エネルギー費の多様化をはかることが必要である。

◇効果的な進めかた

各々の使用量の把握（メーター）、設備の使用量を把握しつかんでいないと管理ができない。これらを正しく記録することが、管理の第一歩である。

次に、外部の専門家と相談・検討を行なう。例えば、燃焼の調整、循環のポンプについてできることはどうしたらよいか、ボイラーの効率はどうか、配管の保温・断熱はどうか、設備を四四ページのように組み合わせるなどメーカーや専門家に相談して取り組むことが大切である。

◇ボイラー

ボイラーの缶の損失は①缶底部からの放熱、②煙突損失、③缶体表面からの放熱、④ブロー損失、⑤給水の持ち去る熱量、⑥不完全燃焼による損失、⑦煙突ガスの持ち去る熱量などがある。

これらの損失を少なくするためには、①缶内スケールの付着防止、②缶水の濃縮防止、③缶水の適正管理、④燃焼の適正管理、⑤煙突ガスの熱回収、⑥ボイラーの休缶時の腐食防止、⑦ボイラーの運転方法の改善、⑧ボイラーの適正容量の選定、⑨ボイラーの適正運転、⑩ボイラーの適正管理などが必要である。

◇ボイラーの運転

ボイラーの運転は、燃料をムダなく燃焼させ、蒸気を必要なだけ発生させることである。

①蒸気圧力を必要以上に高くしない。
②蒸気漏れがないようにする。
③蒸気配管は保温する。
④ドレンは回収する。
⑤ボイラーの缶水は適正に管理する。
⑥ボイラーの缶水は濃縮しないようにする。
⑦ボイラーの缶水は清浄にする。
⑧ボイラーの缶水は適正に管理する。
⑨ボイラーの缶水は適正に管理する。
⑩ボイラーの缶水は適正に管理する。

◇温水器

温水器は、太陽熱を集めて温水を得るものと、燃料を燃焼して、熱源を得るものがある。

温水器の容量は、一般的には、一日の使用量の一～二倍程度が適当である。

温水器の保温は、保温材を使用して、放熱を防ぐことが大切である。

温水器の配管は、配管の長さをできるだけ短くし、曲がりを少なくすること

北海道公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 坂本 潤治
札幌市中央区大通西一六ノ二
電話〇一一（611）九三四一

青森県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 工藤東栄
青森市堤町二ノ六ノ九
電話〇一七七（35）三八五三

岩手県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 戸塚 孝
盛岡市大沢川原三ノ一ノ二
電話〇一九六（22）三五二八

宮城県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 後藤房雄
仙台市通町一ノ六ノ九
宮城県公衆衛生センター内
電話〇二二（73）一三〇九

秋田県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 北条俊夫
秋田市千秋矢留町一ノ一九
電話〇一八八（32）五二三一

山形県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 矢作茂雄
山形市六日町四ノ三七
電話〇二三六（22）八六三九

福島県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 渡辺長吉
福島市新町八ノ三六
電話〇二四五（22）六四七一

茨城県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 内田徳一郎
土浦市東崎町一一ノ二
電話〇二九八（21）〇八八六

栃木県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 金子宗市
宇都宮市清住二ノ二ノ一一
電話〇二八六（22）七三三六

埼玉県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 庄野垣吉
浦和市高砂二ノ一ノ五
電話〇八八八（22）五四〇一

群馬県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 堀 千代繁
前橋市千代田町一ノ四ノ一〇
電話〇二七二（31）九四一一

千葉県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 高塚留蔵
千葉市長洲二ノ九ノ六
電話〇四七二（22）六二八八

滋賀県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 平田正和
大津市長等一ノ三六
電話〇七七五（24）二三二二

山梨県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 三井三千雄
甲府市住吉一ノ八ノ一八
電話〇五五二（32）三七二一

富山県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 見浦丈輔
富山市東町三一二一一七
電話〇七六四（21）三九六八

石川県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 高木益男
金沢市大手町二ノ二二一
電話〇七六二（21）二三七二

三重県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 岩田徳礼
津市広明町三四五ノ五
電話〇五九一（28）四二四〇

岐阜県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 瀬口忠孝一
岐阜市鍵屋西町一ノ七一五
電話〇五八二（62）一四五六

兵庫県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 藤本 勝
神戸市中央区下山手通七ノ一ノ二一
電話 〇七八（341）二四七五

奈良県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 中北棟治郎
奈良県北葛城郡香芝町下田東二ノ二ノ一六
電話〇七四五七（7）二六一〇

和歌山県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 松平義弘
和歌山市小松原六ノ六ノ二三
電話〇七三四（22）一五〇七

岡山県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 西崎康衛
岡山市表町三ノ一八ノ五二民生会館
電話〇八六二（32）〇九七六

長崎県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 松井末寿
長崎市寄合町二ノ二七
電話〇九五八（26）七〇四五

福岡県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 前田幸作
福岡市中央区西中洲一一街区一三号
電話 〇九二（761）三六一一

高知県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 藤本重徳
高知市汐新町二ノ二九ノ八
電話〇八八八（31）二六七三

徳島県公衆浴場業環境衛生同業組合
理事長 松岡包一
徳島市南内町一
出雲大社徳島大教会内
電話〇八八六（53）〇七五五

暑中お見舞い申し上げます

全国公衆浴場業環境衛生同業組合連合会

理事長 澤井秀雄
副理事長 鈴木正之
同 坂本米雄
同 松島信雄
同 西田喜一
同 木村悦夫
常務理事 中島利雄
同 水島正一
同 稲垣正栄
同 米津賢太郎
同 平田重吉
理事 三井三千雄
同 工藤東栄
同 瀬口忠孝一
同 森田 実
同 上出英二
同 藤本 勝
同 西田幸久
同 浅野卯之助
同 池野忠行
監事 戸塚 孝
同 中野利三八
同 山野義哉

東京都千代田区東神田一ノ一〇ノ二
電話 〇三（八六六）九八七三

みんなで入ろう、全浴連の火災共災事業済

全浴連は、全国の組合員のみなさんのために、相互扶助の精神にもとづく制度として、火災共済の事業を実施しております。制度発足以来、制度内容の改善をはかって、ご加入になったみなさんの利益増進に全力を注いでまいりましたが、おかげさまで全国の組合員のかたがたからいへんによろこばれ、加入者も日を追って数を増しております。

今後も、各組合のご協力を得ながら加入の増強を推し進め、みなさんのための共済制度として一段と内容の充実をはかっていきたいと存じます。まだご加入なさっていないかたがたには、制度の趣旨をご理解いただき、ぜひお入りくださるようお願いいたします。

火災共済について、説明会を開きたい、また不明の点などありましたら、全浴連に連絡ください。

この制度のおもな内容を紹介すると、つぎのような仕組みになっております。

全浴連の火災共済

全浴連の火災共済は、同業者の相互扶助を目的として設立されているものです。万一、事故があった場合、火災保険とは、別に見舞金が交付されます。不慮の事故にそなえて、加入されるようお奨めいたします。

▲共済契約限度額三〇〇万円
契約は、五〇万円を単位として、五〇万円、一〇〇万円、一五〇万円、二〇〇万円、二五〇万円、三〇〇万円で、お願いします。

▲共済掛金
一〇万円につき、三〇〇円（いままでは、二八〇円）に下がりました。

契約高	共済掛金
五〇万円……	一五〇〇円
一〇〇万円……	三〇〇〇円
一五〇万円……	四五〇〇円
二〇〇万円……	六〇〇〇円
二五〇万円……	七五〇〇円
三〇〇万円……	九〇〇〇円

▲事業特別基金
新規加入者は事業特別基金一〇〇〇円です。脱退されるとき、返金いたします。

全国公衆浴場業環境衛生同業組合連合会

東京都公衆浴場業環境衛生同業組合

東京都千代田区東神田1−10−2
電話 862−6241（代）

理事長 澤井秀雄
副理事長 西田喜一
常務理事 中島利雄
同 水島正一
同 稲垣正栄
同 米津賢太郎
理事 長谷川昭松
同 近藤利雄
同 川端弥太郎
同 高木英介
同 高橋元彰
同 市川静麿
同 橋本信之
同 石川保
同 横山光蔵
同 宝田常雄
同 飯田好文
同 綾部雅紹
同 佐近隆彦
同 菊井秀信
同 平松吉弘
同 中納繁雄
同 天野豊吉
同 島崎正二
同 栗山鈴太郎
同 矢沢友栄
同 中村誠
同 高波三四郎
同 更科久幸
同 豊田勇
同 高張末松
同 三村武志
同 藤田照明
同 長沼三郎
監事 山崎邦彦
同 瀬崎寿男
同 栗山和雄

SYC電化サービス株式会社
代表者 甲賀章夫
墨田区立川二ノ九ノ一〇
電話(633)五五四七(代)

株式会社誠光商会
取締役社長 生田目盛三
東京都北区西ヶ原一ノ五六ノ一三
電話(917)五九五五(代)−七

日東製作株式会社
代表取締役 市川人世
東京都葛飾区金町四ノ四ノ一四

目黒製作所
代表 渡辺政雄
東京都中央区湊一ノ七ノ二
電話(551)五五一三(代)

株式会社川口鏡店
文京区本駒込四ノ三九ノ四
TEL(823)六二二六
(823)〇二六三

全国浴場新聞
広告取扱店
株式会社 ビーアンドエヌ
東京都中央区京橋三ノ六ノ一四
電話 東京(567)三九八五

東京鶴亀温水器株式会社
東京都北区東田端一ノ四ノ一〇
電話(894)〇五八〇−〇三八一

株式会社 創芸企画
本社東京都北区滝野川六ノ一〇ノ一〇
TEL〇三(916)七一三六(代)

暑中お見舞い申し上げます

冠婚 葬祭、仏壇、生花、花環
東都典範株式会社
代表取締役 古屋良一
電話 03(409)一一四一(代)
(462)一一〇一(夜)

時計広告
株式会社日本装飾
東京都中野区中央一ノ三七ノ五
八千代ヒル
電話(365)〇六九六

クィーンカミソリ本舗
共進商事株式会社
岐阜市関市依通二ノ五〇

有限会社東京錠前製作所
代表取締役 上野乙蔵
東京都墨田区亀沢一ノ六ノ七
電話(623)一一六二六

東部（東日本地区）公衆浴場用品卸商組合
組合長 金子清一
事務所 東京都葛飾区奥田一ノ五ノ七
電話(671)七七二九

財団法人 全国中小企業共済財団
理事長 松崎健吉
東京都千代田区河岡町一ノ四ノ二
電話(264)一一五一一

花王石鹸株式会社
本社 〒103 TEL六六五一(三一)
東京都中央区日本橋堀場町一一
大阪支社 〒530 TEL三四一(〇七)
大阪市西区立売堀一一四一

池島製作所
プラスチック永久腰掛
池島重次郎
大阪市生野区林寺三ノ一五ノ一四
電話 〇六(716)六四八九

関東浴場缶工業会

株式会社 大久原鉄工所
板橋区弥生町六八ノ七
(972)〇四〇五

有限会社 加藤製作所
墨田区立花一ノ六ノ〇
(612)〇四六〇

有限会社 金子製作所
江東区東陽五ノ九ノ五
(644)四〇五九

有限会社 牛島製作所
豊島区高田一ノ一五ノ九
(971)一五〇九

株式会社 上田製作所
江東区北砂二ノ三ノ二
(644)六九三一

有限会社 山崎製作所
葛飾区西新小岩二ノ八ノ〇
(694)〇二五八

有限会社 山崎鉄工所
北区神谷一ノ二八ノ一二
(901)五九九六

株式会社 富士鉄工所
品川区西中延二ノ六ノ六
(781)三八八九

合資会社 赤木鉄工所
文京区白山一ノ一ノ〇
(811)一四九〇

株式会社 佐藤鉄工所
葛飾区金町二ノ二八ノ三
(607)二七一一

株式会社 宮本鉄工所
江東区亀戸一ノ四ノ五
(681)三五七二

武藤製作所
板橋区弥生町一ノ六
(933)一四八五

株式会社 川瀬鉄工所
横浜市鶴見区潮町七ノ六
〇四五(571)五九〇四

株式会社 霜鳥鉄工所
新宿区西落合一ノ三ノ六
(951)二九二九

株式会社 馬場野鉄工所
練馬区貫井二ノ一ノ五
(998)三六二一

東浴温水ボイラー株式会社
大田区下丸子一ノ八ノ三
(739)四二五六

有限会社 豊田製作所
江戸川区春江町二ノ七ノ七
(672)〇六二九

株式会社 大豊製作所
豊島区池袋本町四ノ一ノ一
(983)五四〇〇

加藤製作所
北区豊島一ノ一三ノ三
(911)一四六二

丸進鉄工株式会社
板橋区大谷口北町七ノ二
(965)一五五五

有限会社 坂内温水工業
埼玉県蕨市南町四ノ七ノ三
〇四八二(81)六四二一

目黒製作所
中央区新川二ノ二一ノ〇
(551)五五一三

関根製作所
足立区千住仲町一ノ六
(881)七五九三

株式会社 霜鳥鉄工所
新宿区西落合一ノ三ノ六
(951)二九二九

株式会社 馬場野鉄工所
練馬区貫井二ノ一ノ五
(998)三六二一

東浴温水ボイラー株式会社
大田区下丸子一ノ八ノ三
(739)四二五六

有限会社 豊田製作所
江戸川区春江町二ノ七ノ七
(672)〇六二九

株式会社 大豊製作所
豊島区池袋本町四ノ一ノ一
(983)五四〇〇

加藤製作所
北区豊島一ノ一三ノ三
(911)一四六二

丸進鉄工株式会社
板橋区大谷口北町七ノ二
(965)一五五五

有限会社 坂内温水工業
埼玉県蕨市南町四ノ七ノ三
〇四八二(81)六四二一

目黒製作所
中央区新川二ノ二一ノ〇
(551)五五一三

松竹錠工業株式会社
取締役社長 須和田準之助
東京都品川区大井四ノ一〇ノ六
電話(771)七四七七・九六七七

小川製作所
埼玉県草加市新里町一三九
電話〇四八九(22)五六三三(代)

株式会社 共立ポンプ製作所
代表取締役 大野喜一郎
東京都荒川区町屋八ノ二ノ四
電話(895)〇五九八、〇七九二

温水ボイラ・浴場設備
松清熱業株式会社
京都市南区東九条西山王町10
電話 〇七五(681)六五九一

桜木芸工業株式会社
代表取締役 瀬沼時之助
東京都品川区勝島一ノ二ノ二七
電話(765)三二三一一三

東浴信用組合

東京都千代田区東神田1−10−2
電話 862−6241番（代表）

理事長 吉野幹
専務理事 有沢昇
常務理事 砂田義一
同 綾部恵造
同 金山信次
同 酒井秀雄
理事 安岡賢二
同 米山弥
同 戸波順
同 森下勇
同 小崎昇治
同 本田三平
同 山本安男
同 岸喜代次
同 臼倉武
同 坂詰吉太郎
同 石田三代吉
同 藤田誠蔵
同 村田祐輔
同 岡崎良松
同 館鼻忠義
同 荻生清作
同 辻林次郎
同 下野俊宏
同 加藤政夫
同 山本三郎
同 吉田忠夫
監事 佐藤次男
同 瀬戸松蔵
同 川上知之
顧問 澤井秀雄
同 村上光雄
相談役 鈴木孝三
同 内海長一郎
同 久島幸一

東京浴場国民健康保険組合

東京都千代田区東神田1−10−2
電話 862局6241番（代表）

理事長 村上光雄
常務理事 西一郎
理事 戸波順
同 梅沢重作
同 三森至
同 渡辺忠三郎
同 荒木長次郎
同 小林粋一
同 菜畠祐雄
同 井藤良一
同 桜井子之助
同 井上嘉寿治
同 船橋俊平
監事 山上徳雄
同 滋田長一郎

都道府県別 入浴料金表

	県名	施行年月日	料金 大人	中人	小人	洗髪	摘要
北海道	北海道	57. 6. 15	240	120	60	0	
東北	青森	56. 11. 20	220	120	60	0	
	岩手	56. 12. 9	195	90	60	50	
	宮城	56. 12. 5	185	100	60	50	
	秋田	57. 1. 10	200	90	60	50	
	山形	56. 4. 15	190	80	50	50	
	福島	57. 4. 5	200	90	60	50	
関東甲信越	茨城	55. 7. 10	180	70	40	40	
	栃木	56. 3. 9	190	90	40	30	
	埼玉	55. 11. 11	190	100	60	40	
	群馬	57. 1. 1	200	90	40	30	
	千葉	56. 7. 4	205	100	40	25	
	東京	57. 5. 7	290	110	60	0	
	神奈川	57. 6. 1	220	90	60	20	
	山梨	55. 8. 1	190	90	40	30	
	長野	56. 12. 1	200	80	40	40	
	新潟	57. 7. 1	210	100	40	50	
東海北陸	静岡	56. 1. 16	180	80	40	40	
	愛知	57. 7. 21	210	90	50	30	
	岐阜	56. 8. 1	200	90	50	30	
	三重	56. 7. 15	180	80	40	20	
	石川	56. 9. 20	200	80	40	30	
	富山	56. 12. 28	200	80	40	30	
近畿	福井	57. 6. 20	200	80	40	30	
	滋賀	57. 4. 1	200	100	50	30	
	京都	56. 8. 25	200	100	50	0	
	大阪	56. 6. 10	190	90	50	10	
	兵庫	56. 4. 10	190	90	50	50	
	奈良	57. 1. 4	190	80	50	20	
	和歌山	55. 12. 1	190	90	50	20	
中国	岡山	56. 9. 5	180	80	50	40	
	広島	56. 8. 5	190	90	50	40	
	山口	56. 4. 15	180	80	50	40	
	島根	56. 9. 2	180	80	40	40	
	鳥取	55. 7. 1	175	80	40	40	
四国	香川	57. 1. 1	190	100	60	30	
	愛媛	57. 4. 1	190	100	60	50	
	徳島	57. 1. 16	190	100	60	30	
	高知	57. 1. 15	190	100	60	30	
九州	福岡	56. 7. 1	190	100	60	50	
	佐賀	55. 11. 1	180	80	50	30	
	長崎	55. 11. 1	180	80	50	30	
	熊本	56. 3. 7	170	70	50	30	
	大分	55. 8. 10	180	80	40	30	
	宮崎	55. 11. 1	170	70	50	30	
	鹿児島	55. 9. 1	180	80	50	30	
	沖縄	55. 11. 6	200	100	70	30	

京都大会で発表した意見（要旨）

いまこそ需要喚起を

松本順次

公衆浴場経営の苦境は、国民の一人当たりの入浴機会を減少させる絶対的な要因が存在するからであり、入浴機会を増加させるための施策を講じない限り、今後ともこの状況は改善されないものであります。それには、まず公衆浴場に対する国民の認識を改めてもらうことが必要であります。

公衆浴場は、単に体を清潔にするだけの場所ではなく、健康増進、レクリエーション、コミュニケーションの場としての機能を有しており、国民の生活文化の向上に大きく寄与しております。

また、公衆浴場は、地域住民の連帯感を醸成する社会のサロン、情報交換の場としての役割も果たしており、地域住民の連帯感を醸成する社会のサロン、情報交換の場としての役割も果たしており、地域住民の連帯感を醸成する社会のサロン、情報交換の場としての役割も果たしております。

このように公衆浴場は、国民生活にとって欠くことのできない施設であり、国民の健康の維持増進のためにも、公衆浴場の振興は極めて重要な課題であります。

しかしながら、公衆浴場の現状は、燃料費の高騰、人件費の増加、施設の老朽化等により、経営は極めて厳しい状況にあります。

特に、燃料費については、昭和54年度の石油ショック以来、約2倍の負担増となっており、公衆浴場の経営を圧迫する大きな要因となっております。

また、入浴料金についても、物価の安定を図るため、昭和55年7月に小学生以下の無料入浴券が廃止されましたが、なかには、入浴料金が高いまま、入浴券の発行を継続しているところもあり、入浴料金の引き上げを実現するためには、入浴券の廃止を含めた料金体系の見直しが必要であります。

公衆浴場は、国民の健康増進のための施設であり、国民の生活文化の向上に大きく寄与しております。

公衆浴場の経営の苦境は、国民の一人当たりの入浴機会を減少させる絶対的な要因が存在するからであり、入浴機会を増加させるための施策を講じない限り、今後ともこの状況は改善されないものであります。それには、まず公衆浴場に対する国民の認識を改めてもらうことが必要であります。

公衆浴場は、単に体を清潔にするだけの場所ではなく、健康増進、レクリエーション、コミュニケーションの場としての機能を有しており、国民の生活文化の向上に大きく寄与しております。

また、公衆浴場は、地域住民の連帯感を醸成する社会のサロン、情報交換の場としての役割も果たしており、地域住民の連帯感を醸成する社会のサロン、情報交換の場としての役割も果たしております。

このように公衆浴場は、国民生活にとって欠くことのできない施設であり、国民の健康の維持増進のためにも、公衆浴場の振興は極めて重要な課題であります。

しかしながら、公衆浴場の現状は、燃料費の高騰、人件費の増加、施設の老朽化等により、経営は極めて厳しい状況にあります。

特に、燃料費については、昭和54年度の石油ショック以来、約2倍の負担増となっており、公衆浴場の経営を圧迫する大きな要因となっております。

また、入浴料金についても、物価の安定を図るため、昭和55年7月に小学生以下の無料入浴券が廃止されましたが、なかには、入浴料金が高いまま、入浴券の発行を継続しているところもあり、入浴料金の引き上げを実現するためには、入浴券の廃止を含めた料金体系の見直しが必要であります。

確保法の意義について

市原健

昨年の第91次会で「公衆浴場確保法」が立法化されましたが、国民の入浴の機会を確保するため、所期の目的を達成するように努めるべきであります。

この法律は、昭和55年7月に施行されてから、2年間の時限立法であり、この間に、公衆浴場の経営の安定を図るための施策を講ずることとされております。

しかしながら、この2年間に、公衆浴場の経営の安定を図るための施策を講ずることとされております。

この法律は、昭和55年7月に施行されてから、2年間の時限立法であり、この間に、公衆浴場の経営の安定を図るための施策を講ずることとされております。

広場

効果大きい ヒートポンプ

六月十五日付け官報掲載（厚生省）「環境衛生関係営業の振興指針」（厚生省）「環境衛生関係営業の振興指針」（厚生省）「環境衛生関係営業の振興指針」



浴場今昔ものがたり

大原　十六

大阪は、淀川の三角州地帯にて、葦が生え湿地帯が連なり、市街地の発展が遅れていた。豊臣秀吉が大阪城を築き町ができる。昔は「浪の花咲くや」と詠まれた。元和元年（一六一五）五月、大阪夏の陣にて豊臣氏が滅亡し、徳川幕府が全国支配の体制を固めた。

幕府が直轄地（天領）を定めるなど強力な統治をはかったが、大阪の繁栄のもとを築いたといわれる。

幕府の所在地江戸は政治の中心、いわゆる「天下の台所」と称され、全国の物資の集散地となった。堺、博多とともに発展した商人の町、大阪は「天下の台所」と称された。

元和元年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五年、幕府は大名屋敷の配置を定め、長崎にあって唯一の海外貿易港であった長崎と江戸を結ぶ東海道の宿場を整備した。

元和六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八年、幕府は大名屋敷の配置を定め、長崎にあって唯一の海外貿易港であった長崎と江戸を結ぶ東海道の宿場を整備した。

元和九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和四十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和五十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和六十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和七十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和八十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和九十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百二十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百三十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百四十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百五十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百六十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百七十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百八十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和百九十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百二十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百三十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百四十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百五十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百六十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百七十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百八十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和二百九十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十一年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十二年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十三年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十四年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十五年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十六年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十七年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十八年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百二十九年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、武家地の拡張と町人地の整備を行った。

元和三百三十年、幕府は大名屋敷の江戸集中を図るため、